

現無数に存在する宇宙

▶ 2024.1.6(土)

B君：「宇宙は1つじゃなくて、無数にあるんだよ。」

生徒A子：「うん、

それって、聞いたこと、ある。」

B君：「ほれ、

あなたは、あなたの右にも左にも、前にも後にもいるんだよ。」

生徒A子：「え！？

あたし、ひとりしか見えないんだけど…」

B君：「見えないんだけど、あなたは宇宙には無数にいるの。」

生徒A子：「そんなうそ言ったってだめだよ。

ほれ、あたしは、あたしひとりだもん。」

B君：「では、証拠をみせてあげるよ。

鏡を2枚向かい合わせにおいて、その間に手を置いてごらん。」

生徒A子：「うん、

こうかな。

わっ、わっ、わっ…

手が、手が、手が…

あたしが、無数にいる！」

B君：「あなたの手が、鏡の奥の奥の奥まで続いているでしょ。

宇宙は無数に重なっているんだよ。

宇宙には、あなたは無数に存在するの！」

生徒A子：「…」

神さん：「ん！

うそ、教えちゃいけないがね、うそを。

そんなの単なる鏡の反射でしょうが…」

じゃんじゃん！